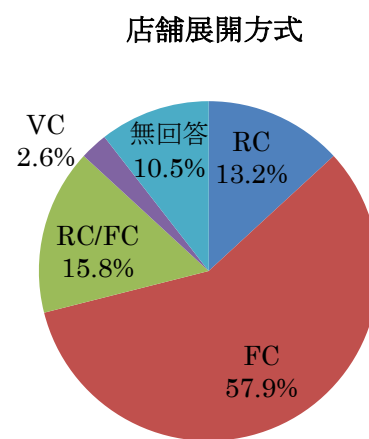
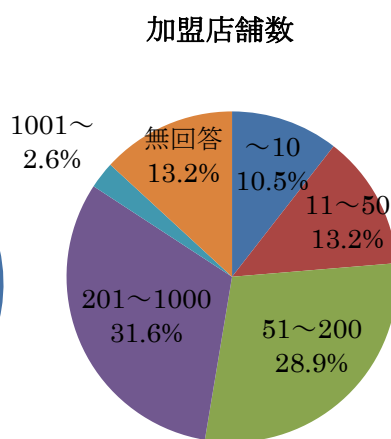
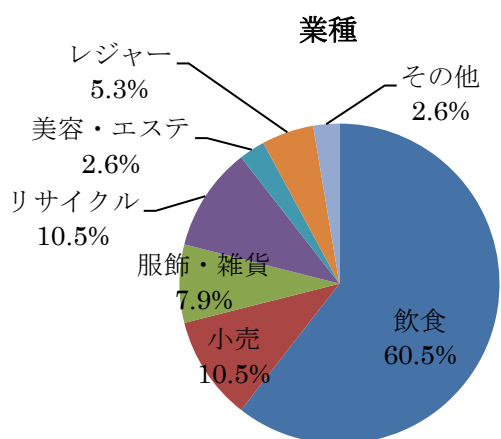


福井市中心市街地への出店可能性に関する調査の結果について

【調査の概要】

1. 目的 出店可能性を調査し、空き店舗の有効活用・商業活性化の参考にする。
2. 調査期間 平成25年2月4日（月）～2月28日（木）
3. 対象 328社
4. 調査方法 郵送によるアンケート方式
5. 回答数 38社（回収率11.6%）
6. 回答者属性



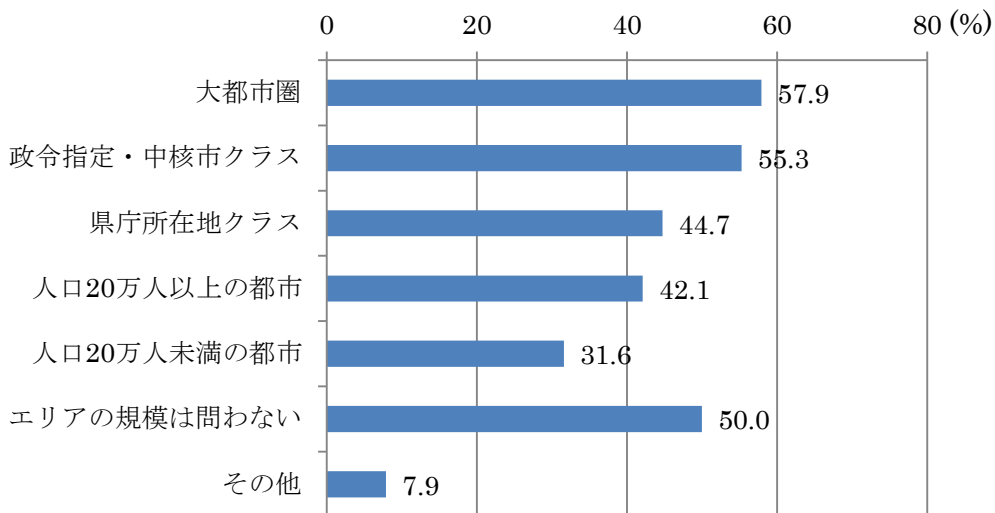
【調査結果】

出店状況について

1. 出店エリアの規模

現在の出店エリアの規模については、「大都市圏」(57.9%)が最も多く、次いで「政令都市・中核市クラス」(55.3%)となっている。「県庁所在地クラス」(44.7%)、「人口20万人以上の都市」(42.1%)も四割以上の回答があった。

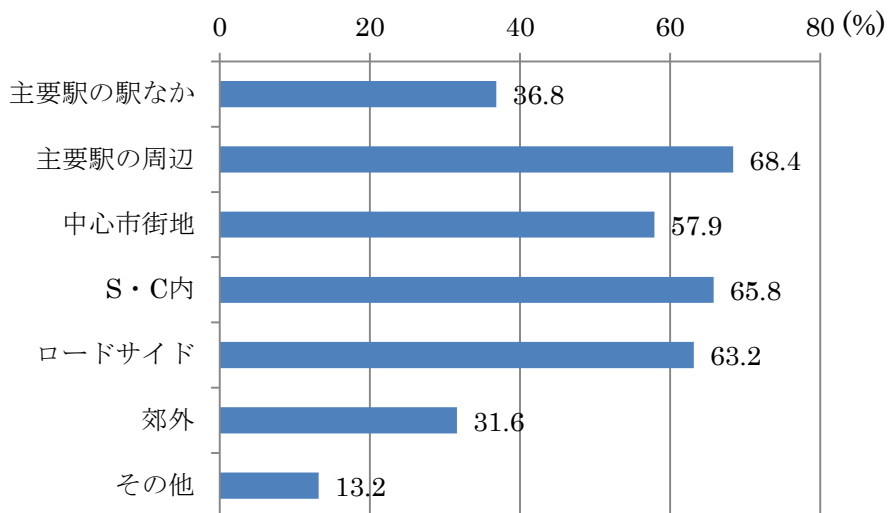
出店エリアの規模 (MA)



2. 出店エリアの種類

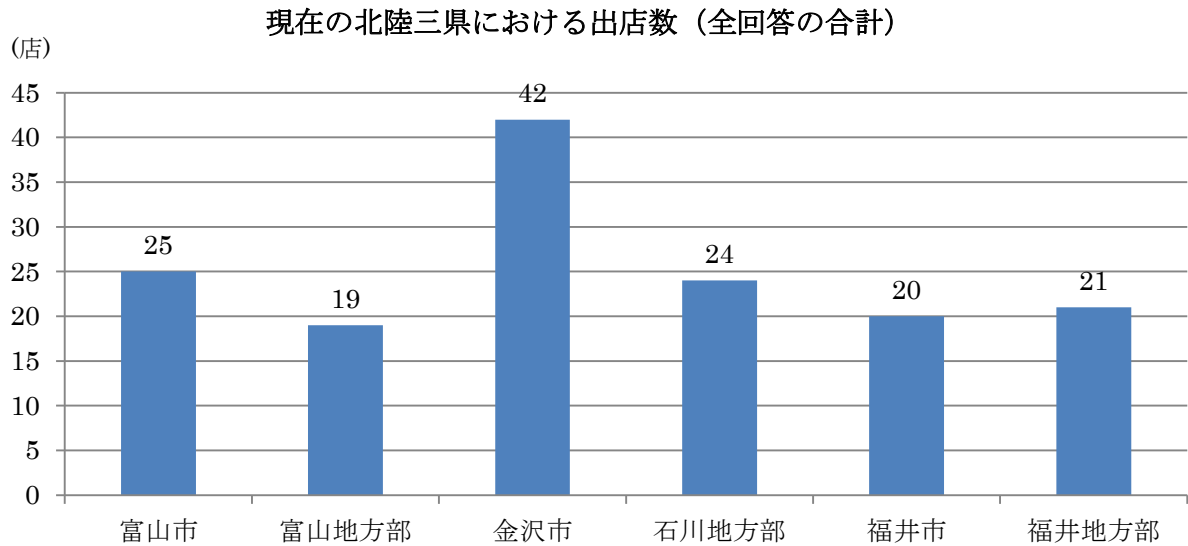
現在の出店エリアの種類については、最も多いのは「主要駅の周辺」(68.4%)であるが、次いで「S・C内」(65.8%)、「ロードサイド」(63.2%)となっており、「中心市街地」は57.9%となっている。

出店エリアのの種類 (MA)



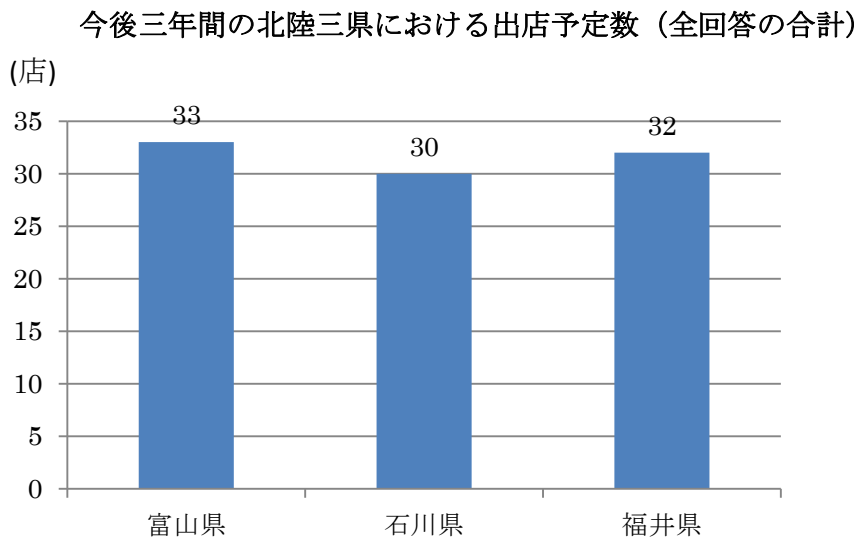
3. 北陸三県における出店数

北陸三県における現在の出店数は「金沢市」(42店)が最も多く、次いで「富山市」(25店)となっている。



4. 今後三年間の北陸三県における出店予定数

今後三年間の出店予定数は、「富山県」(33店)が最も多く、次いで「福井県」(32店)、「石川県」(30店)となっている。各県に大きな差は見られない。

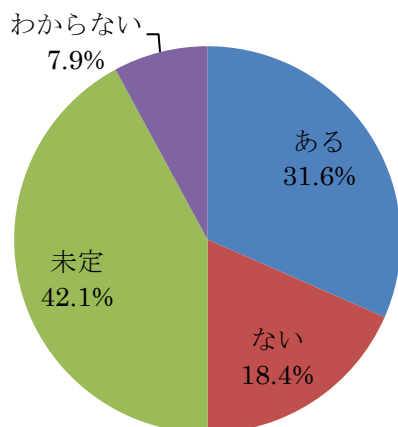


福井市中心市街地での出店について

5. 今後三年間の福井市への出店計画

今後三年間の福井市への出店計画は、「ある」が31.6%、「ない」が18.4%となっている。

今後三年間の福井市への出店計画

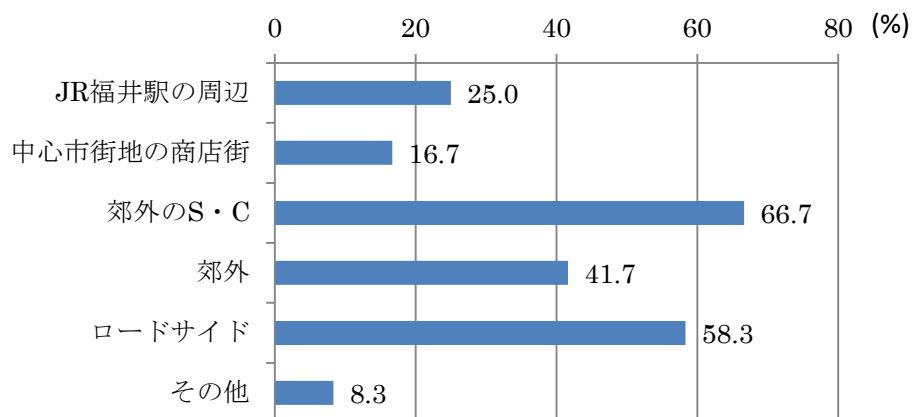


6. 福井市内での出店計画地

※設問5で福井市内への出店計画が「ある」と回答した企業

福井市内での出店計画地は「郊外のS・C」(66.7%)が最も多く、次いで「ロードサイド」(58.3%)、「郊外」(41.7%)となっている。

福井市内での出店計画地 (MA)

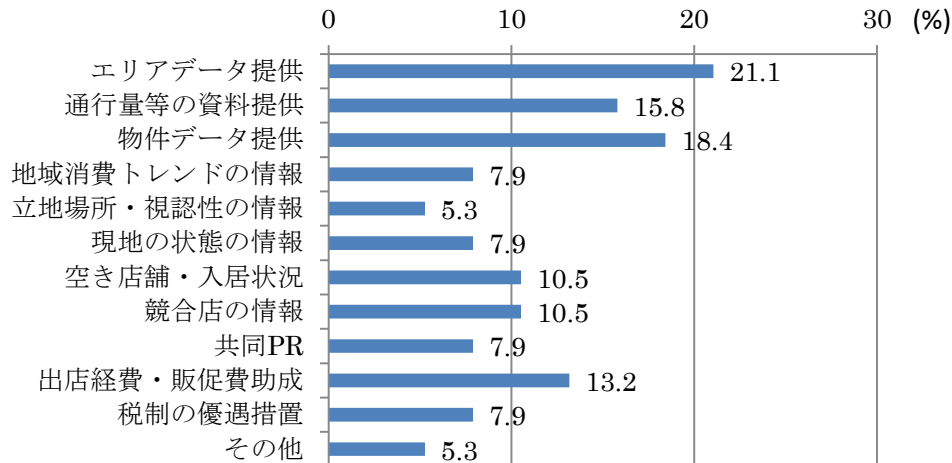


7. 福井市等に希望する支援

※設問5で福井市内への出店計画が「ある」と回答した企業

福井市中心市街地への出店にあたり福井市等に希望する支援は、「居住者数や商圈人口等のエリアデータ提供」(21.1%)が最も多く、次いで「物件の面積や賃料、設備等物件データ提供」(18.4%)、「通行量等の資料提供」(15.8%)、「出店経費や販促費の助成」(13.2%)となっている。

福井市等に希望する支援（3つまで）

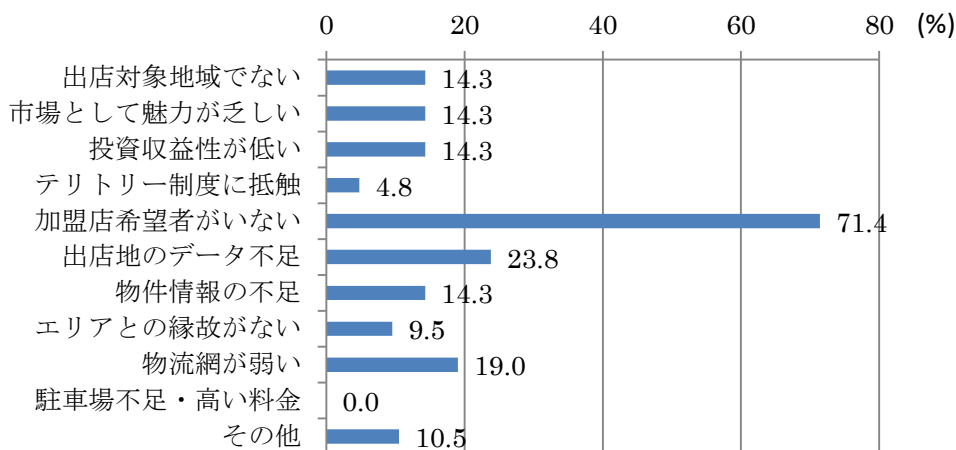


8. 福井市を出店予定地に選ばない理由

※設問5で福井市内への出店計画が「ない」または「未定」と回答した企業

福井市を出店予定地に選ばない理由は、「加盟希望者がいない」(71.4%)が最も多く、次いで「出店地のデータ不足」(23.8%)、「物流網が弱い」(19.0%)となっている。

福井市を出店予定地に選ばない理由（3つまで）



9. 地方都市中心部での出店を検討する際に重視する条件

※優先度が1番高いものに3ポイント、2番目に高いものに2ポイント、3番目に高いものに1ポイントを割り振って合計を算出

地方都市中心部での出店を検討する際に重視する条件は、「立地場所・視認性」(60ポイント)が最も多く、次いで「加盟店希望者の有無」(40ポイント)、「居住者数・商圈人口」(31ポイント)、歩行者通行量(27ポイント)、「賃料と物件設備」(24ポイント)となっている。

地方都市中心部での出店を検討する際に重視する条件

